

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
仕分けマッチング	中	国語・数学 Hグループ (国語・自立活動)	森田清隆

<ねらい>

- ・同じものを合わせることができる。
- ・ないものを自分で仕分けできるようになる。
- ・物の名称が理解できる。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- ・さまざまな「おもしろ消しゴム」を写真に撮り、仕切りケースの中に入れる。実際の消しゴムは、別のケースに準備する。
- ・仕切りケースの中の写真以外の消しゴムは、別のケースに仕分ける。

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・発達年齢の視点や自閉傾向のグループの生徒が在籍していることもあって、マッチングは適していた。
- ・気持ちなどで落ち着きないときは、授業終わる10分前から行い、集中して取り組んでいた。
- ・文字のみで消しゴムをマッチングする取り組みも考えていたが、時間があまりできなかつた。
- ・仕分けのやり方は、生徒さまざまな仕方で取り組んでいたため、新たな発見だった。

<その他（材料、費用、購入先等）>

- ・ダイソー（仕切りケース 150円）
（おもしろ消しゴム3個入り 110円）
※魚編、乗り物編などジャンルごとあり
→比較的大きなダイソーに行くと種類が豊富。

